

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 糖尿病における腹部超音波スクリーニングの意義
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 消化器肝臓内科（研究責任者）松本 直樹
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦 2024年 12月 31日
＜研究の目的と意義＞ 糖尿病では悪性腫瘍発症リスクが上昇することが知られており、消化器領域では肝癌、膵癌がそれぞれ2倍のリスクとされています。そのため日常臨床では糖尿病症例には腹部超音波検査をスクリーニングとして定期的に行われることが多いですが、実際にどういった疾患が発見され、予後改善に寄与しているかわかっていません。今回、糖尿病症例の腹部超音波検査の実態を調査します。
＜利用する試料・情報の項目＞ 血液、検査データ、超音波検査画像・結果、診療記録等。
＜対象となる患者さん＞ 西暦2014年1月1日～承認日の期間に当院超音波室で腹部超音波検査を受けた方のうち、糖尿病の方。また対照として同時期に腹部超音波検査を受けた肝嚢胞、肝血管腫、胆嚢ポリープ、胆嚢腺筋腫症の方。
＜研究の方法＞ 対象となる患者さんの腹部超音波検査結果を、糖尿病の方とそうでない方で比較し、どういった疾患がどの程度発見されたか解析します。
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 消化器肝臓内科 氏名:松本 直樹 電話:03-3972-8111 内線:(PHS)8095